



みどりの里

宇奈月小学校だより

第10号

令和5年3月3日

目指す子供像 うんとかんがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山205番地1
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

「感謝の気持ちを伝える」

校長 金三津 ひろみ

2月24日(金)、1年間お世話になった安全パトロール隊の皆さまに感謝の気持ちを伝える「安全パトロール隊感謝の集い」を開催しました。昨年、一昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催せず、子供からの感謝の手紙を送付するのみとさせていただいていました。

当日は、各地区の安全パトロール隊やスクールバスの運転手さん、駐在所の警察官、地鉄電車の誘導員さん等、9名がご出席くださいました。1年生が、「いつもありがとうございます」の言葉とともに、首飾りを贈った後、代表の6年生4名が感謝の言葉を述べました。



1年生から首飾りをプレゼント

校区が広く、スクールバス・電車・徒歩等、様々な手段で登下校している本校では、安全パトロール隊の方々の協力は欠くことのできない大切なものです。安全パトロール隊の皆さんが、交差点や横断歩道等に立って見守ったり、付き添って登下校したりしてくださるおかげで、保護者は安心して子供を送り出し、私たち教職員は安心して学校で子供たちを待つことができます。年間約200日、暑い日も雨や風、雪の日も、中には10年以上も活動して下さっている方もおられるそうです。ときには、しょんぼりと歩いている子供に「大丈夫?」と声をかけてくださったり、子供同士のけんかを仲裁したりして下さることもあり、地域の子供として本当に大切に思っていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

同時に、安全パトロール隊の方々がいてくださることは「当たり前」のことではなく、多くの方々のご厚意によるものであることを忘れてはいけなく改めて強く感じています。1月に実施した保護者アンケートでは、「宇奈月小学校でしか学べないような行事や地域との関わりを大切にしてほしい」とのご意見が多くありました。本校では、年間を通して、地域の大きな支えをいただいている教育活動もたくさんあります。どれも協力していただくことを「当たり前」と思うことなく、常に見直しながら、学校にしかできないこと、家庭にお願いすること、地域にご協力いただくことを見極めていくことも必要であると考えています。

「安全パトロール隊感謝の集い」に参加された安全パトロール隊を代表して、浦山自治振興会長の澤田さんから、「今日このように感謝の言葉をいただき、ますます、がんばろうと元気が湧いてきました。パトロール隊の皆さんは、子供たちの『おはよう』の声から元気をもらっています。これからも元気な挨拶を聞かせてください」との言葉をいただきました。気持ちは、言葉にしなれば、相手には伝わりません。子供たちは、「おはよう」「行きます」「ありがとう」等の元気な挨拶で、地域を明るく照らす灯りのような存在になる力を持っています。保護者の皆さまには、これからも、子供たちを「行ってらっしゃい」の元気な声で送り出すことで、挨拶リレーのバトンを渡していただければ幸いです。

《第2回「保護者アンケート」へのご協力ありがとうございました》

第2回保護者アンケートを1月に実施しました。

学校を応援するご意見や改善に向けての提案等、多くのご意見をお寄せいただきありがとうございました。

いただいたご意見を教職員全員で共有し、早速、3学期の学校運営や次年度の教育活動の改善につなげるよう取り組んでいきます。

主なご意見を、本校ホームページの「保護者のページ」に掲載しておりますので、ご覧ください。(右のQRコードからも読み込むことができます)



【教育活動の充実】行事・校外学習の実施

○宿泊学習（5・6年で実施）では他学年と交流できてよかった

○宇奈月に住んでいるが地域のことをよく知らない。校外学習で地域のことを知れるのはとてもよい

▲スキー練習会は、全校実施でもよい

▲スキー練習会は、土日の希望制にしてほしい

今年度は、5・6年がそれぞれ単学級となったことから、宿泊学習を2学年合同で実施しました。5学年で宿泊学習を経験している6年生が、初めての宿泊学習となる5年生をリードし、協力して活動する姿が随所に見られ、異学年交流という面でもよかったと感じています。また、2学年合同で行うことで、引率教員が増え、きめ細かな対応ができるという利点もあります。

スキー練習会は、今年度も多くの保護者のご協力の下、実施することができました。1～6年まで全校での実施を希望する声、希望制にしてはどうかなど、様々な意見があります。学校としては、校区にあるスキー場で、どの子も複数回はスキーを経験できるようにしたいと考えています。

今後も、各行事が子供たちの成長のために意義のあるものとなるよう、子供たちの意見も参考にしながら、見直しを図っていきたいと思います。

【健康・安全な学校生活の充実】新型コロナウイルス感染症対策

○コロナ対応が適切である

○コロナ療養中にオンライン授業を提供していただきよかった。子供の心の安定という面でも助かった

▲待機期間が長く、家族の体調不良等で長く休まざるを得なかったことが残念だった

▲体温チェックの紙について、37℃以上のときのみ記載するなど改善できないか

登校時の健康チェック等、ご家庭にも様々なご協力をいただき、感染症対策を講じて教育活動を実施してきていましたが、11月下旬には全校で臨時休業の措置をとる事態となり、大変ご迷惑をおかけしました。来年度、感染症法上の位置づけが変更となることにより、マスクの着用が個人の判断に委ねられることや、基本的には行動制限もなくなることが考えられています。ただ、引き続き、子供たちの健康状態を正しく把握することは必要不可欠であると考えています。方法等については改めてお知らせします。

【子供の交友関係、トラブルやいじめへの対応等】人間関係づくり、トラブルへの対応

○相談するとすぐに対応していただいている。担任のみでなく、他学年の先生や教頭先生等も一緒に解決に当たってくださる

○何かあるとすぐに連絡があるので、学校の様子がよく分かる

▲友達同士でトラブルになった際には、その状況やレベルに応じて保護者への報告が必要である。友人とトラブルがあった際は教えてほしい

子供同士の間で生じた問題については、関わった子供からよく話を聞き、事実の確認とそれぞれの思いの理解に努め、その上で、経緯や指導の経過を含めて、なるべく早期に、関係の保護者に連絡することとしています。問題の解決に向けて、自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりする中で、自分の言動を振り返ったり、相手の気持ちを理解したりして、他と共に生きる経験を積み重ねることは学校で学ぶべき大切なことだと考えます。「どうすればよかったか」「次に同じようなことがあったときどうするか」等、落ち着いて考える場と時間をとるようにしています。ご家庭でも、まずはじっくりと話を聞いて子供の思いを受け止め、心配なことや気になることがありましたら、いつでも学校へご相談ください。

【学校と家庭の連携】配布物の削減、家庭への連絡

○HP や各種たより等で学校の様子がよく分かり楽しみにしている。HP の更新が早い
○一斉メールでタイムリーな情報を発信していただき、すぐに確認できるので助かっている

▲入学式後の書類作成に時間がかかる。HP 上に様式を置いて作成できるようにするなど、デジタル化により負担軽減できるとよい

▲アンケートを選択式にすることで回答、集計ともにしやすくなる。Web のフォーム等を使ってアンケートを行うとよい

先日お知らせした通り、黒部市では、来年度より、教育安全メールが「あんしんメール」へと変更されます。この「あんしんメール」を活用することで、添付ファイルを送付することも可能になります。そこで、配布物の一部を紙媒体（プリント）での配布からデータでの送付に変えていくことも積極的に取り組みたいと考えています。まだ登録がお済みでない保護者の皆さまには、「あんしんメール」アプリでの登録にご協力をお願いします。

アンケートに関しては、回答や集計の容易さ等、選択式や Web による実施の利点と多様なご意見をいただける記述式の利点を踏まえて、より意義のあるアンケートにできるよう改善していきます。また、提出書類の様式データを送付し、ご家庭で活用していただけるようにすることについても、無理のない範囲で行っていきます。ただ、提出については、個人情報保護の観点から、メールでのやり取りではなく、紙媒体での提出を基本にしたいと思います。

【その他】服装等のきまりについて

▲登校後・下校前等に着替えるのが大変。体操服で登下校してもよいのではないか

▲靴下が白色に指定されているが汚れがひどく洗濯しづらい。黒色や紺色も可としてほしい

服装等のきまりに関するご意見が複数ありました。体操服を持って登下校することで荷物が増えること、登校後・下校前等に着替える必要があること、体操服と制服を洗濯しなければならないこと等のデメリットについて指摘するご意見でした。一方、着替えにより生活のけじめをつける習慣付け、地鉄電車を利用して登下校する際の周囲の乗客等への配慮等、制服着用の意義もあります。今後の検討においては、教員や保護者等、大人の考えのみで結論を出すのではなく、児童会等の場で子供自身が学校生活のきまりについて話し合う機会を設けることも必要であると考えています。

《6年生を送る会を開催しました》

2月24日(金)、「6年生を送る会」を開催しました。

「最高の6年生へ 感謝の気持ちをこめて ハッピー・サンキュー・ナイス」のスローガンのもと、1・3・5年生はステージ発表で、2・4年生は首飾りや招待状等のプレゼントや会場の飾り付けで感謝の気持ちを表しました。最後は、6年生からのお礼の発表で、グループごとに「ミッキーマウスマーチ」やジブリ映画の主題歌を次々に合奏した後、各学年に向けての温かいメッセージが贈られました。卒業を祝う気持ちとお世話になった6年生への感謝の気持ちのあふれる温かい時間となりました。



2年生から首飾りのプレゼント



4年生から招待状のプレゼント



3年生「宇奈月 YOSAKOI 2023」



1年生「はばたけ未来へ!ツバメダンス」



5年生 劇「中学生に俺はなる!」



6年生から感謝をこめて「合奏とメッセージ」



《第2回学校評議員会を開催しました》

2月22日(水)第2回学校評議員会を開催しました。今回は、校内を回り、学習参観もしていただきました。その後、アクションプランの取組や成果と課題、保護者アンケートの結果、2学期以降の教育活動における子供たちの様子等を写真も交えて紹介しました。

大橋 朋子さん	人権擁護委員
岡田 千春さん	浦山公民館主事
竹山 繁夫さん	内山自治振興会長
中 佳美さん	放課後児童クラブ主任指導員
百石富士雄さん	主任児童委員
森下 泰行さん	青少年育成黒部市民会議下立支部長
四月朔日丈晴さん	宇奈月小学校 PTA 会長

【本年度の学校評議員の皆さま】

後半の協議では、評議員の皆さまから学校運営について様々なご意見をいただきました。

主なご意見についてお伝えします。

◎アクションプラン1「学習用端末(タブレット)を活用した問題解決的な学習」について

- ・授業においてタブレットの活用が進んでおり、子供たちの「調べる、まとめる」能力が育っている。一方、「伝える」活動がやや少ないように感じた。子供たちが関わり合って話し、聞いたことでさらに課題をもって深く調べるという学習のサイクルができるようにしていく必要がある。
- ・どの学年もタブレットの扱い方には十分慣れていると感じる。その分、興味のあることを図鑑で調べたり、好きなことにひたったりする時間が少なくなっていることが残念である。

◎アクションプラン2「互いに認め合う言葉かけや行動のできる子供の育成」について

- ・自己評価で「まあまあできた」「よくできた」と回答した児童の割合は約9割いるものの、「よくできた」は4割程度となっている。より一層高めていくことが必要である。
- ・子供たちの自己評価は分かるが、保護者は我が子の様子をどのように見ているのか「親による評価」も行っていくとよい。
- ・高学年になると、子供は相手に応じて言葉遣いを変えることもある。親の評価は難しい面もある。ただ、学校の取組だけで育てられるものではなく、家庭の協力が欠かせない。保護者の意識を高めていくことが必要である。

◎アクションプラン2「折り合いを付けながら生活する力を育てる」ことについて

- ・学年や発達段階に応じて、子供同士で話し合い、折り合いを付ける力を育てていく必要がある。少しずつ「自力解決」できるようにするためには、大人がすぐに介入せず、子供を信じて見守り、子供自身の力で解決することを促すことも大切である。
- ・子供同士で問題が起きたとき、トラブルと受け止めるのではなく、まずは事実とそれぞれの思いをしっかりと聞くことからスタートする。急いで解決しようと思わない。子供一人一人、受け止め方にも個人差があり、その子に応じた対応が大切である。
- ・学校は大変丁寧に対応してくれているが、少し丁寧すぎる面もあるかもしれない。社会に出て生き抜くことができる力を育てることが学校教育のゴールであり、そのためには、精神的なたくましさを身に付けることができるようにしていく必要がある。
- ・県内でも、不登校、ひきこもり、自殺等が増加している。これらは学校だけで完結する問題ではなく、第三者の力も借りて解決していけばよい。

◎人権集会の取組について

- ・7月に人権擁護委員による人権教室を開催した後、12月には全校で人権集会を行うという繋がりのある計画がよい。人権集会で取り組んだ「人権すごろく」も子供たちが楽しく人権について考えるよい機会となっている。

《ナメコの植菌体験を行いました～花とみどりの少年団解団式～》

2月13日(月)、5年生が1年間様々な活動に取り組んできた「花とみどりの少年団」の最後の活動となる「ナメコの植菌」体験と解団式を行いました。青少年育成黒部市民会議下立支部やフォレストリーダーの皆さんに教えていただき、ナメコの植菌に取り組みました。フォレストリーダーの梶木さんから、キノコが「菌」の仲間であることや、よい菌・悪い菌、「菌」の働き等についてのお話を聞いた後、6班に分かれて、植菌活動に取り組みました。間伐材を利用した原木に、電動ドリルで穴を開け、木槌で菌を打ち込んでいきました。最初はおそろおそろ取り組んでいた子供たちも、指導者の方々に丁寧にコツを教えていただきながら、約1時間、楽しく活動することができました。4月に原木を下立の山へ運び、2、3年後に収穫できるようになるそうです。子供たちは、6月の鉾ヶ岳歩行会の昼食時に、以前の5年生が植菌し育ったナメコのみそ汁を食べられると聞き、喜んでいました。



《パソコン・プログラミング教室を行いました》

2月28日(火)、情報教育特別講師に來校いただき、1～4学年で学習用端末(タブレット)を使ったパソコン・プログラミング教室を開催しました。1年生は学習支援ソフト(ロイノート)の使い方の練習、2～4年生は簡単なプログラミング体験をしました。プログラミング教室では、学習ゲームの「コードモンキー」に取り組み、「(右に回る、○歩進むなどの)コードを書く→キャラクターのサルが動く→バナナを手に入れる」というステップを体験しながらプログラミングについて学びました。何度でもやり直すことができるため、どの子も試行錯誤を繰り返し、あっという間に慣れてどんどん進んでいました。近くの席の子供同士で自然に教え合う姿も見られ、楽しく学習することができました。



《3月の主な行事予定》

- | | | |
|----|--------|------------------------------|
| 3月 | 6日(月) | 学期末清掃協調週間 ～10日 |
| | 15日(水) | 卒業祝い品授与式、卒業式予行 |
| | 16日(木) | 卒業式前日準備(4・5年)、6年給食最終日 |
| | 17日(金) | 卒業証書授与式(給食なし) |
| | 21日(火) | 【祝:春分の日】 |
| | 22日(水) | 地区児童会、集団下校、新入生電車通学練習会 |
| | 23日(木) | 1～5年給食最終日、ランチルームワックスがけ |
| | 24日(金) | 修了式(給食なし) |
| 4月 | 7日(金) | 第1学期始業式(給食なし) |
| | 10日(月) | 給食開始、中学校入学式 |
| | 11日(火) | 入学式(給食なし) |
| | 21日(金) | 学習参観、学年・学級懇談会、PTA総会(全て午前)※予定 |

※新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの状況等により、変更となる場合があります。